

# 事務事業チェックシート

事務事業No 206 事業名 身体障害児者災害備蓄事業

[事業基本情報]

分野別目標	1	安心して、安全に暮らせるまち
政策	1	総合防災対策の充実
施策	3	災害等に強い体制づくりの推進
基本方針	2	非常用物資の確保

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		民生費
	項		社会福祉費
	目		身体障害者福祉費
	大事業		身体障害者福祉事業
事項		身体障害児者災害備蓄事業	

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間		～
事業実施の根拠法令		
関連個別計画	和歌山市障害者計画	
担当課・担当課長 (Tel)	障害者支援課	坂下 雅朗 (435-1060)
関連課		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束	障がい者福祉の推進			

## 1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	災害時の障害児者の利便性の向上を図る。	災害時にストーマ装具等を購入市役所東庁舎1階の倉庫及び河北コミュニティセンターに災害時に福祉用具を備蓄する。また、使用期限の確認を行い、新しいものを補充する。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		蓄便袋：13箱 蓄尿袋：15箱 軽合金白杖（折りたたみ）6本 紙おむつM、L枚各3袋 清拭料400m60本	ストーマ装具（消化器系）：13箱 ストーマ装具（尿路系）：15箱 軽合金白杖（折りたたみ）6本 紙おむつM、L枚各3袋 清拭料400m60本	ストーマ装具（消化器系）：19箱 ストーマ装具（尿路系）：18箱リムーバー等	ストーマ装具（消化器系）：19箱 ストーマ装具（尿路系）：18箱リムーバー等	ストーマ装具（消化器系）：19箱 ストーマ装具（尿路系）：18箱リムーバー等

## 2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	188	188	185	181	200		185		185	
	伸び率 (%)	-	-	-1.6%		8.1%		-7.5%		0.0%	
	人件費	常勤職員	2,491	2,302	2,302	2,487	2,484		2,484		2,484
		非常勤職員	0	0	0	0	0		0		0
		小計	2,491	2,302	2,302	2,487	2,484		2,484		2,484
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
	その他										
	一般財源（税等）	188	188	185	181	200		200		200	
	所要人数	常勤職員	0.34	0.31	0.31	0.33	0.33		0.33		0.33
非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0		0	
主な予算内訳	消耗品費200千円										

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	ストーマ装具（尿路系）の備蓄数（人分）	年度目標値		20	30	30	30	30			
		実績値		14	20						
	単位	人分	全体目標値	30	全体目標達成度	66.7%	年度別達成度	70.0%	66.7%		
	ストーマ装具（消化器系）の備蓄数（人分）	年度目標値		80	107	90	90	90			
		実績値		91	117						
	単位	人分	全体目標値	90	全体目標達成度	130.0%	年度別達成度	113.8%	109.3%		
	成果指標	ストーマ装具等利用者人口の約20%の人数分を3日分備蓄することを目標とする。（人分）（H21～H23年度600人×20%=120人）（H25年度660人×20%=132人）（H26年度685人×20%=137人）					年度目標値	132	137	137	137
							実績値	105	138		
		単位	人分	全体目標値		全体目標達成度		79.5%	100.0%		
					年度目標値						
					実績値						
単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>備蓄量については概ね目標量に近づいているので、耐用年数を経過したストマの入れ替えのみで現状維持できるようにしコストは削減し、対象者数の増加分に対応して現状を維持できるようにしていきたい。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>備蓄場所が市役所東庁舎1階の倉庫・河北コミュニティセンターの2か所であったが、北サービスセンターを加えて3か所に見直した。</p>